

平成30年度 仙台市市民協働事業報告

～孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援事業～

地域の居場所

「おいざの食卓」

NPO法人 おりざの家
代表 佐藤 宏美

NPO法人 「おりざの家」 の活動内容

①食育推進事業

- 玄米健康料理教室、行事食の普及、親子料理教室

②家庭支援事業

- カウンセリング、タッピングタッチ基礎講座

③『おりざの食卓』事業

- 孤食や生活困窮家庭の子供を中心とした多世代夕食支援

「おりざの食卓」の概要

場 所



太白区長町一丁目

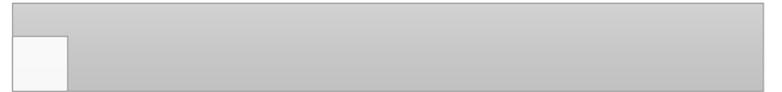
実施日



毎週／木・金曜日

16：00～19：30

利用料と定員



利用料／無料

定員／20名（登録制）

対象者



- 孤食や生活困窮家庭の子どもとその保護者
- ひとり親・共働き家庭の子どもとその保護者
- 地域との繋がりが希薄な一人暮らしの高齢者及び中間層代



本事業により解決したい課題

■◇ 孤食、固食、欠食の解消

■◇ 貧困解消への手助け

◇ 養育問題の相談

◇ 虐待の未然防止または早期発見

事業目的と平成30年度の事業目標

人間性形成

- バランスの取れた**健康的な食生活の習慣**
- 日常生活を通して、**自立した成長、社会性の育成、信頼関係の構築**

多世代連携

- あらゆる世代と**楽しく食卓を囲むこと**のでの相互理解の増進
- 世代を乗り越えて気軽に集える**地域の「居場所」**としての存在意義

相互扶助強化

- **週2回、年間98回の開催**で、顔がわかる信頼関係の成就
- **地域住民との交流イベント「流しそうめんのタベ」、「餅つき大会」**の開催

福祉力向上

- 地域住民、行政、児童館、大学等の**多様な機関との福祉ネットワーク**の構築
- **多様なボランティア活動の仕組みづくり**（裁縫の会「ぬいっこの会」活動等）

活動の紹介①

～食へのこだわり～

一汁三菜

身土不二

一物全体食



活動の紹介②



事業の実施スケジュール

項目	内容
「おりざの食卓」開催実績	年間91日、延べ利用者数1,645名 1回当たり18名
「おりざの食卓」登録者数	45名（幼児5、小学生22、中学生2、高齢者6、保護者10）
寄付者総会	2018.5.〇開催
地域の方々との交流イベント	流しそうめんの夕べ（2018.8.2）
「おりざの食卓」各種会議	定例会議(6)、ボラカフェ会議(6)、事務局会議(12)、ぬいっこの会(20)、餅つき大会(2018.12) ※毎週水曜日/事務局開放
調理師リーダー養成講座	全4回(8/31,9/14,9/28,10/5)
仙台市職員受入れ（「NPO留学」）	2名、各5日間
関係機関との連携	「架け橋」の役割、2件（南部アーチル、社協・福祉大へ引き合い）
広報・啓発活動	【講演】宮城県子ども食堂立ち上げ講座、養育支援研修会、太白区★元気っこ応援隊、子ども食堂の現状と課題、みやぎNPOプラザ（Nカフェ）、太白区まちづくりフォーラム 【取材】テレビ・新聞・大学・高校等多数

「おりざの食卓」 利用状況

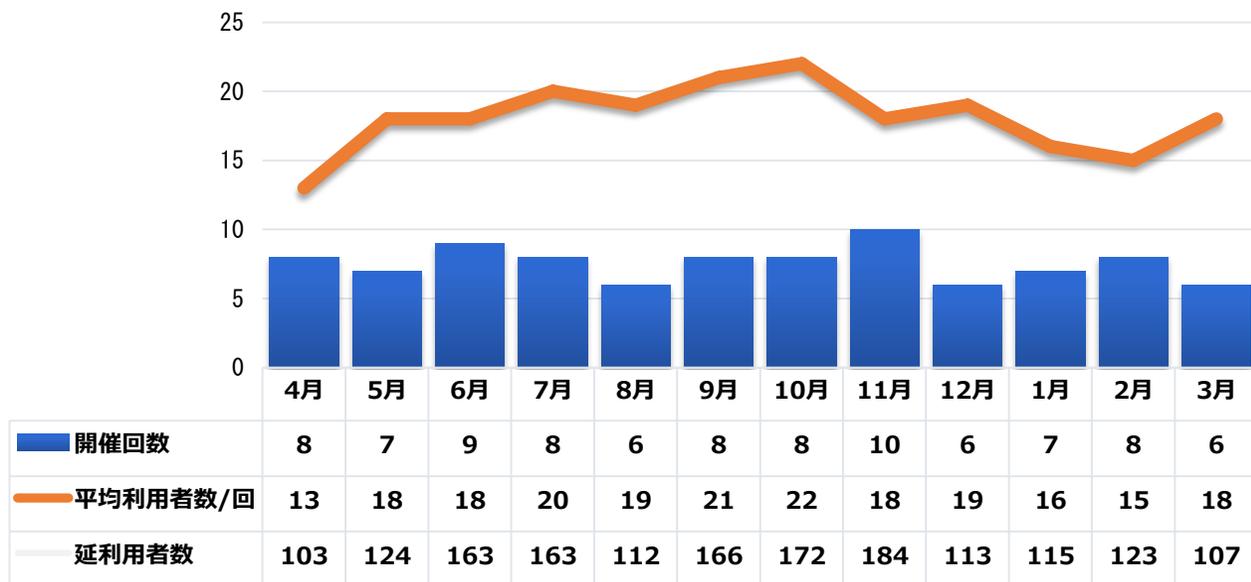
平成30年度利用者数

(延べ利用者数 1,645人)



- 子供
- シニア
- 保護者
- 見学者

月別開催回数と1回当たりの平均利用者数



利用者延べ人数	1,645人
年間開催日数	91日
平均利用者数/回	18人

役割分担と協働

役割分担	協働
太白区 家庭健康課	□定例会議（2ヶ月毎）を開催し、情報の共有や企画、運営の話し合い
□助言、アドバイス □おりざの食卓への参加 □利用者告知の協力（チラシの設置） □啓発活動への協力	
おりざの食卓	□おりざの食卓の運営

使 用 経 費

項 目	金 額	内 訳
食料費	558,459	子ども食堂開設時の食材費
水道・光熱費	272,986	ガス・水道・電気
子ども食堂保険代	5,000	東京海上日動火災保険株式会社
人件費	273,000	職員手当
事務費・消耗品	201,747	事務用品等
広報費	5,232	おりざの食卓チラシ
通信・印刷費	184,688	切手・葉書・FAXおよび事業報告書印刷等
小計	1,501,112	
仙台市へ返納	109,888	
合計	1,611,000	

事業目的の達成状況

目的	達成度	理由
①人間形成	95点	<ul style="list-style-type: none">・ 地域への愛着・ 健康的な食習慣・ 子どもへのケアワーク
②多世代連携	95点	<ul style="list-style-type: none">・ 多世代に対する理解度・ 地域の居場所としての存在意義
③相互扶助強化	100点	<ul style="list-style-type: none">・ 登録制による顔の見える強い関係・ イベントを通して地域交流
④福祉力向上	90点	<ul style="list-style-type: none">・ 関係機関との連携、福祉ネットワークの強化・ 「地域食堂の作り方」への問い合わせの増加

事業の成果

項目	内容
(1)事業目的の達成度	総合得点は95点。各項目ともほぼ目標に達しているが、子どもひとり一人に対してのケアワークが十分になされているとは言い難い。
(2)協働による効果	<ul style="list-style-type: none">・事業の基盤強化や認知度の向上につながった。・協働することで、スタッフやボランティアのモチベーションアップにつながった。
(3)新たな課題	<ul style="list-style-type: none">・定員超過による開催場所の拡大・ケアワークに関する勉強会

今後の取組予定

安定的な運営のため
組織強化と資金調達
の確立

生活塾

食事の大切さ・食を通
じた「いのちの教育」

地域の「居場所」

基本的な生活習慣
(掃除、洗濯、炊事)